

科目名称	在宅看護援助論（日常生活ケア）
授業コード	BK254
英語名称	
学期	2024年度後期
単位	1.0
担当教員	田中 博子, 安田 耕平, 福井 郁子, 白坂 誉子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	在宅看護は、健康上の課題を抱えて地域で生活する小児から高齢者までを対象としている。授業は、視聴覚教材を用いたり、最前線で活躍する訪問看護師や理学療法士による授業を取り入れ、様々な療養者に応じた日常生活援助について学ぶ。授業を通して、療養者と家族が安心して住み慣れた地域（居宅）で生活していけるための支援のあり方を考えていく。
科目に関連する実務経験と授業への活用	授業は、病院・訪問看護ステーションで看護師としての実務経験のある教員、地域で理学療法士として訪問リハビリの実務経験のある教員、および訪問看護・地域密着型通所介護において摂食・嚥下障害看護認定看護師として実務経験のある看護師が担当する。
到達目標	この科目は、専門科目の「看護援助の方法」の一つである。カリキュラム・ポリシーに掲げる「看護学としての専門知識・技術を学び、論理的思考を修得する」「地域包括ケアシステムの要として多職種や地域住民と連携・協働できる能力を培う」に対応する科目である。ディプロマ・ポリシーに掲げる「地域で暮らす人々の多様な文化、生活背景、価値観を尊重し、個人・家族および地域の健康レベルに応じた地域包括ケアを実践する基礎的能力を有している」「対象者に最善の支援ができるように、保健医療福祉システムの中で人々と協働する能力を有している」をめざし、以下に到達目標をあげる。 1.要支援者および、脳血管疾患、認知症、摂食・嚥下機能の低下、低栄養状態など療養上の課題を抱えて生活する要介護者に対して、対象の状態に合わせた日常生活支援のあり方について説明することができる。 2.独居、家族と同居など要支援者・要介護者の生活状況に応じた社会資源・福祉用具の活用について説明することができる。 3.在宅療養者が自分らしい療養生活が継続できるためのケアマネジメント、多職種連携の在り方について考察することができる。
計画・内容	第1回 在宅療養者のヘルスアセスメント 担当教員：田中博子（看護師） 第2回 在宅療養支援技術 - 訪問に向けた接遇と面接技術 担当教員：田中博子（看護師） 第3回 在宅療養支援技術 - 脳血管疾患をもつ療養者と家族への日常生活援助 担当教員：福井郁子（看護師） 第4回 在宅療養支援技術 - 認知症をもつ療養者と家族への日常生活援助 担当教員：田中博子（看護師）

計画・内容	<p>第5回 在宅療養支援技術 - 要支援高齢者と家族への日常生活援助 担当教員：福井郁子（看護師）</p> <p>第6回 在宅療養支援技術 - 低栄養、摂食・嚥下障害をもつ療養者と家族への日常生活援助 担当教員：白坂 誉子（摂食・嚥下障害看護認定看護師）</p> <p>第7回 在宅療養支援技術 - 在宅療養者の移動・移乗に関する在宅看護技術 演習 担当教員：安田耕平（理学療法士）田中博子（看護師）福井郁子（看護師）</p> <p>第8回 在宅療養支援技術 - 独居高齢者への日常生活援助 担当教員：福井郁子（看護師）</p>
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護学、老年看護学等で学んだ知識や技術を活用しながら療養者が生活している場で看護する方法を講義・演習形式で学ぶ。 ・パワーポイントを活用し、テキストおよび配布資料にそって授業をすすめる。 ・適宜、学生と教員間でディスカッションを行う。 ・在宅における看護場面の理解を助けるために視聴覚教材を活用する。 ・授業終了後にはリフレクションペーパーの提出を求める。
能動的な学びの実施	<p>授業は、学生への質問を行いながら進める予定であるため、積極的な態度を期待する。</p>
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習として授業で学んだことをふまえ、テキストから課題を出す。 ・復習は、授業中、配布資料等にかきとめたことをテキストを活用して確認し、ノートに整理する。（各回1時間程度）
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・尾崎章子,佐野けさみ編著：地域・在宅看護論 医歯薬出版株式会社 2021 ・このテキストは在宅看護援助論 ・ ・在宅看護学実習 ・ でも使用する。 ・必ず購入し授業時には持参する。 <p>【参考書】授業中に紹介する。 【資料】授業の際に配布する。</p>
成績評価方法と基準	<p>課題学修：リフレクションペーパー（10%） 定期試験（90%）</p>
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレクションペーパーの記載内容は次回の授業に反映させる。 ・学生からの質問については次回の授業でフィードバックする。
オフィスアワー	<p>Campus Squareを参照</p>
留意事項	<p>在宅看護学は病院看護と異なり、療養者が暮らしている場所に向いて看護をするという、学生にはイメージし難いところがある。したがって、できるだけ視覚的な教材を使っていく予定である。授業を通して在宅看護活動に興味・関心をもってほしい。主体的な学習の促進のために、予習・復習を設定している。これらは成績評価に反映させるので、1つ1つ丁寧に取り組んでほしい。</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>非対面となった場合 授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・zoomによる授業と課題学修を組み合わせで行う。 <p>成績評価方法と基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題学修（10%）定期試験（90%）で評価する。 ・定期試験は、formsにて行う。